

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月11日
【四半期会計期間】	第103期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	株式会社ミツウロコ
【英訳名】	MITSUUROKO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田島 晃平
【本店の所在の場所】	東京都千代田区外神田四丁目14番1号
【電話番号】	03(3258)6311(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 児島 和洋
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区外神田四丁目14番1号
【電話番号】	03(3258)6311(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 児島 和洋
【縦覧に供する場所】	京葉支店 (千葉県千葉市稲毛区長沼町335番地9) 神奈川支店 (神奈川県平塚市田村一丁目5番6号) 群馬支店 (群馬県前橋市大渡町一丁目10番5号) 埼玉支店 (埼玉県熊谷市代1番地) 中部事業部 (愛知県名古屋市中川区広川町五丁目1番地) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第102期 第1四半期 連結累計期間	第103期 第1四半期 連結累計期間	第102期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	35,621	38,996	165,278
経常利益(百万円)	1,151	841	4,059
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( ) (百万円)	366	416	656
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,041	423	594
純資産額(百万円)	60,422	60,518	61,074
総資産額(百万円)	107,898	108,772	110,060
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額( )(円)	5.46	6.39	9.80
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	55.9	55.5	55.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

4. 第102期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、前連結会計年度において非連結子会社であった(株)岩国ウッドパワーは、重要性が増加したため連結の範囲に含めております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、東日本大震災の影響により生産量や輸出の停滞など企業業績は厳しい状況にあり、雇用情勢や個人消費も下げ止まりとはいえ依然低迷していることもあり、先行きについては慎重な見方が広がっております。

当社グループ主力のエネルギー事業の周辺環境では、内需の縮小や原油価格が高水準に留まるなどの状況下、東日本大震災の影響により主力製品であるLPガスの販売量が大きく減少したことに加え、仕入価格の指標となるCP（Contract Price = 輸入通告価格）が依然高水準にあること、また、併せて販売管理費が増加していることから、当社グループ全体の収益も減少するなど非常に厳しい状況となりました。

こうした状況下、被災地の復興に向けた需要により住宅機器類の販売量増加や、ミネラルウォーター需要の拡大、電力不足による売電単価の上昇等、一部で業績拡大要因があったものの、主力製品の収益減少を補うまでには至らず、第1四半期連結累計期間の売上高は石油製品の販売量拡大により前年同期比9.5%増の389億96百万円となりましたが、営業利益は前年同期比33.7%減の7億27百万円、経常利益は前年同期比27.0%減の8億41百万円となり、四半期純利益は前年同期に資産除去債務の計上等があったため前年同期比7億83百万円増加して4億16百万円（前年同四半期は四半期純損失3億66百万円）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

#### （エネルギー）

既述のように、LPガスのCPが高水準にあることに加え、石油製品の販売量増加により売上高は前年同期比8.4%増の369億3百万円となりましたが、LPガスの販売量が減少した影響により営業利益は前年同期比33.7%減の8億75百万円となりました。

#### （不動産賃貸）

賃料収入の増加等により売上高は前年同期比0.7%増の2億72百万円、営業利益は前年同期比1.6%減の1億20百万円となりました。

#### （アミューズメント）

ボウリング場閉鎖の影響等により、売上高は前年同期比31.1%減の3億8百万円、営業損失は前年同期比13百万円改善し、1億5百万円（前年同四半期は営業損失1億19百万円）となりました。

#### （電力）

特定規模電気事業者としての電気の販売増加や、新たに連結の範囲に含めたバイオマス発電事業会社（株）岩国ウッドパワーにより、売上高は前年同期比228.5%増の9億17百万円、営業利益は売上高増加によるものの他、風力発電所のメンテナンスの一部を自社で実施する等の合理化策推進により前年同期比49百万円改善され41百万円（前年同四半期は営業損失7百万円）となりました。

#### （その他）

ミネラルウォーターの販売量増加の影響により、売上高は前年同期比2.0%増の5億94百万円、営業利益は前年同期比60.9%増の28百万円となりました。

( 2 ) 財政状態の分析

当第1四半期連結累計期間末の総資産は、現金及び預金の減少2億60百万円、受取手形及び売掛金の減少17億76百万円、有形固定資産の増加5億68百万円等により、前連結会計年度末と比較して12億88百万円減少の1,087億72百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少11億36百万円、未払法人税等の減少4億3百万円、長期借入金の増加10億83百万円等により、前連結会計年度末と比較して7億31百万円減少の482億54百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い9億80百万円及び四半期純利益4億16百万円等による利益剰余金の減少5億63百万円等により、前連結会計年度末と比較して5億56百万円減少の605億18百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.1ポイント増加して55.5%となりました。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

( 4 ) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	197,735,000
計	197,735,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	68,137,308	68,137,308	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数100株
計	68,137,308	68,137,308	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高 (百万円)
平成23年4月1日 ~ 平成23年6月30日	-	68,137,308	-	7,077	-	366

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,800,300	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 277,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 64,993,400	649,934	-
単元未満株式	普通株式 65,708	-	-
発行済株式総数	68,137,308	-	-
総株主の議決権	-	649,934	-

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ミツウロコ	東京都千代田区 外神田4-14-1	2,800,300	-	2,800,300	4.10
(相互保有株式) 新潟サンリン株式会社	新潟県新潟市中央区 東出来島11-18	271,900	-	271,900	0.39
(相互保有株式) 伊香保ガス株式会社	群馬県渋川市 伊香保町 伊香保549-19	6,000	-	6,000	0.00
計	-	3,078,200	-	3,078,200	4.52

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,473	31,212
受取手形及び売掛金	13,985	12,209
商品及び製品	3,189	3,455
原材料及び貯蔵品	199	250
繰延税金資産	656	534
その他	2,015	2,035
貸倒引当金	134	119
流動資産合計	51,385	49,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,188	13,234
機械装置及び運搬具(純額)	8,851	9,020
土地	12,636	13,019
建設仮勘定	17	9
その他(純額)	860	838
有形固定資産合計	35,554	36,122
無形固定資産		
のれん	2,118	2,062
その他	804	996
無形固定資産合計	2,923	3,058
投資その他の資産		
投資有価証券	10,380	10,437
繰延税金資産	724	700
その他	9,296	9,010
貸倒引当金	285	194
投資その他の資産合計	20,116	19,952
固定資産合計	58,595	59,134
繰延資産	80	60
資産合計	110,060	108,772



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,612	10,476
1年内償還予定の社債	3,000	3,000
短期借入金	6,327	6,230
未払法人税等	560	156
引当金	1,045	413
その他	2,419	2,879
流動負債合計	24,965	23,156
固定負債		
長期借入金	14,421	15,505
繰延税金負債	2,139	2,202
退職給付引当金	1,248	1,254
その他の引当金	476	444
資産除去債務	698	695
その他	5,037	4,996
固定負債合計	24,021	25,098
負債合計	48,986	48,254
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,077	7,077
資本剰余金	5,843	5,843
利益剰余金	48,574	48,011
自己株式	1,603	1,603
株主資本合計	59,893	59,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,397	1,438
繰延ヘッジ損益	314	349
その他の包括利益累計額合計	1,083	1,089
少数株主持分	98	98
純資産合計	61,074	60,518
負債純資産合計	110,060	108,772

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 1 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 百万円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	35,621	38,996
売上原価	28,797	32,312
売上総利益	6,824	6,683
販売費及び一般管理費	5,726	5,955
営業利益	1,097	727
営業外収益		
受取利息	30	18
受取配当金	102	104
その他	143	212
営業外収益合計	276	336
営業外費用		
支払利息	140	138
その他	81	85
営業外費用合計	222	223
経常利益	1,151	841
特別利益		
固定資産売却益	15	9
貸倒引当金戻入額	9	-
その他	3	-
特別利益合計	28	9
特別損失		
固定資産除却損	5	26
固定資産売却損	-	0
退職給付費用	351	-
役員退職慰労金	229	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	718	-
特別損失合計	1,303	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 ( )	123	823
法人税、住民税及び事業税	107	235
法人税等調整額	137	171
法人税等合計	245	406
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 ( )	369	417
少数株主利益又は少数株主損失 ( )	2	0
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	366	416

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	369	417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	594	42
繰延ヘッジ損益	92	34
持分法適用会社に対する持分相当額	13	1
その他の包括利益合計	672	6
四半期包括利益	1,041	423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,039	423
少数株主に係る四半期包括利益	2	0

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年6月30日)

連結の範囲の重要な変更

前連結会計年度において非連結子会社であった(株)岩国ウッドパワーは重要性が増加したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	959百万円	930百万円
のれんの償却額	-	0

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月14日 取締役会	普通株式	1,009	15	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月19日 取締役会	普通株式	980	15	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	エネル ギー	不動産 賃貸	アミュー ズメント	電力	計				
売上高									
外部顧客への売上高	34,041	270	447	279	35,038	583	35,621	-	35,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	4	0	-	23	5	28	28	-
計	34,060	274	447	279	35,061	588	35,650	28	35,621
セグメント利益又は 損失( )	1,320	122	119	7	1,315	17	1,333	235	1,097

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、飲料水の製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 235百万円には、セグメント間取引消去 1百万円、各報告には配分していない全社費用 236百万円及びその他調整額 1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	エネル ギー	不動産 賃貸	アミュー ズメント	電力	計				
売上高									
外部顧客への売上高	36,903	272	308	917	38,401	594	38,996	-	38,996
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	3	-	19	41	11	52	52	-
計	36,920	275	308	937	38,442	606	39,048	52	38,996
セグメント利益又は 損失( )	875	120	105	41	931	28	960	232	727

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、飲料水の製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 232百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告には配分していない全社費用 231百万円及びその他調整額 1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	5円46銭	6円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (百万円)	366	416
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(百万円)	366	416
普通株式の期中平均株式数(千株)	67,185	65,241

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年5月19日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 980百万円

1株当たりの金額 15円00銭

支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成23年6月30日

(注) 平成23年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月11日

株式会社ミツウロコ  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 長崎 康行 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高尾 英明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミツウロコの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミツウロコ及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。